花巻国際交流協会情報誌
STAR WING
Ｎｏ．297
令和３年９月１日発行
公益財団法人花巻国際交流協会
☎：0198－26－5833　FAX：0198－26－5855
HP：http://hanakokusai.wordpress.com/
E-mail：kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp

生活講座　交通安全教室　開催のお知らせ

令和３年度　定住外国人支援事業

生活講座　交通安全　教室

正しい自転車の交通ルールを勉強しましょう

日時　令和３年９月26日（日）

午前10時～11時30分

場所　ＪＡいわて花巻旧宮野目支店西側駐車場
〒025-0003　花巻市東宮野目1-60（雨天時、花巻市交流会館）

講師　花巻市市民生活総合相談センターの皆様

定員　２０名（定員になり次第終了）

対象　花巻市に住んでいる外国出身者やその家族、定住外国人支援に関心のある方

参加費　無料

持ち物　自転車

しめきり　９月22日(水)

問い合わせ・申し込み
公益財団法人花巻国際交流協会　TEL：0198-26-5833
E-mail：kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp

９月２６日（日）午前１０時から午前１１時３０分まで、定住外国人支援事業「交通安全教室」を開催します。

講師には、花巻市市民生活部市民生活総合相談センターの方々をお招きし、自転車や歩行者の基本的な交通ルールについて教えていただきます。正しい交通ルールを勉強したあと、実際に自転車に乗り練習を行う予定です。

自分や地域の方々が安心して生活するために、安全な自転車の乗り方を学んでみませんか。

当日必要なものは、自転車です。自転車をお持ちいただけない方は、お申し込みの際にご相談下さい。

R３年度国際理解推進事業 第３回多文化サロン

The Art of PERUVIAN CULTURE

ペルーの文化に触れてみませんか？

CONTENTS (予定)

＊レシピ＆作り方の紹介：**CACHANGAS**（カチャンガ）
（小麦粉でできた甘いおやつ、揚げパンのようなもの）
＊ペルー文化紹介：食べ物や観光について
クイズ・ミニスペイン語講座
（カチャンガと紅茶を頂きながら）

講　師

廣瀬 カロル さん（岩手県国際交流協会）
クェンカ・レイノソ・マリアンさん
（カロルさん母）

日　時：**10月10日（日）** 10:00～11:30

会　場：花巻市交流会館(空港旧ターミナルビル)
〒025-0004　花巻市葛 3-183-1
対　象：花巻市にお住まいの方又はお勤めの方
参加費：一般 300 円、賛助会員 100 円
定　員：１２名※定員に達し次第締め切らせていただきます。
その他：マスク着用の上、ご参加下さい。

9/21 受付開始

申し込み・問い合わせ
公益財団法人花巻国際交流協会 TEL:0198-26-5833

昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました多文化サロン「ペルー」を開催します。ペルーと言えばマチュ・ピチュ遺跡がすぐ頭に浮かびますが、普段私たちの食卓で目にする食材のトマト・かぼちゃ・ピーナッツ・とうがらしはペルーが原産地です。ペルーの文化に触れてみるチャンス！皆様のご応募お待ちしております。

R３年度国際理解推進事業　第２回多文化サロン

「インドネシアってどんなとこ？」
～世界で最も多くの島々からなる国～

8月９日（月）10時00分～11時30分、令和３年度国際理解推進事業第2回多文化サロン「インドネシアってどんなとこ？」～世界で最も多くの島々からなる国～を開催しました。当協会職員の多田千華が講師として、アシスタントとしてアナンタさんとアタクサさん（インドネシア・スラバヤ出身）に手伝っていただきました。

彼らの故郷には伝統舞踊があり、名前は「レオッグ・ポノロゴ」。トラと孔雀の羽があしらわれた世界最大級のお面は、重さが 50ｋｇもあります。講座では詳しく説明できなかったので起源をお話します。いくつかの説があるものの、およそ 12 世紀のクディリ王国（ジャワ島東部にあったヒンドゥー教国）の伝説に遡るようです。

美しいお姫さまにポノロゴ王国の王子とブリタール王国の王子が求婚しました。困ったお姫様は３つの条件をだしました。①2 つの頭を持った動物をさがしてくること。②きれいな男女がのっている 144頭の馬車を用意すること。③今まで誰もやったことがないアトラクションを用意すること。

2人は戦い、ポノロゴ王国の王子が勝利しました。トラの顔と人間の身体を持つブリタール王国の王子は頭に載せていた孔雀と一体になり、トラと孔雀の2つの顔を持つ動物になりました。3つの条件を叶えたポノロゴ王の王子はお姫さまのもとへ行き踊りを披露しました。その様子を再現しているのが伝統舞踊の「レオッグ・ポノロゴ」です。ちなみにお面をつける人は一生独身を貫きます。結婚すれば祟りが起きると信じられているそう。インドネシアのジャワ島を訪れたさいは、ぜひ生でご覧ください。

協会スタッフも今回、インドネシアの衣装を身に付けました。左からインドネシアゴロンタロ州のクラワン（手縫いの刺繍が特徴）。2番目はバティック（ジャワの模様）。真ん中はクバヤ（結婚式に参列する衣装）次はバティック（カリマンタンの模様）頭にはブランコン（ジャワの男性が被る民族衣装）。右端はクラワン、頭にブランコン。私たちの衣装はいかがでしたか？

アシスタントのお2人＆受講生の皆様テリマカシ☆

Chika のインドネシア体験記

Chika プロフィール

現在（公財）花巻国際交流協会スタッフとして勤務
2010年～2012年までの 2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ボアレモ県に栄養士隊員として派遣される。
首都ジャカルタよりボアレモ県まで直線距離で約2,300ｋｍ。ジャカルタから飛行機で（約3時間）→ミニバスに乗り換え（約3時間）→ボアレモ県に到着

私が青年海外協力隊に参加したのは、、、

私が育った東和町は国際交流が盛んな町で、海外から毎年たくさんのお客様を迎え入れていました。そうした中で我が家もホストファミリーとして短期留学生を受け入れることがたびたびありました。留学生と触れ合う中で私も将来外国に行きたいと思うようになりました。

さいわい青年海外協力隊員として活躍された方が身近にいたのでますます興味を深めました。何か1つでも特技があればよいと聞かされて、私は栄養士として協力隊に参加しようと思いました。

インドネシアに出発前、達増県知事を表敬訪問。岩手観光大使を拝命。

栄養士の短大に進み夢への一歩を踏み出しました。盛岡で行われたJICA青年海外協力隊員募集説明会に参加して、OB の体験談を聞きました。その人は任期中に孤児をひきとり大学までの学費を援助したのだそうです。「遊びに来ていた子が家に住むようになり、三者面談にも行って親になったみたいだった」と当時独身だったその人は当たり前のように話をされました。それを聞いてこんなにボランティア精神が高い人しか行けないのかと正直踏み出した足を引込めそうになりました。

花巻市役所へ表敬訪問。このジャケットは青年海外協力隊のフォーマルジャケットで公式の場合に着用。

栄養士として５年間経験を積んだ後、再びJICAの募集説明会に行きました。インドネシアで農業隊員として活動したOG の体験を聞きました。質問コーナーで自分の技術が通用するのか不安だと本音をぶつけました。すると「みんな同じ不安を持っている、とりえず挑戦してみるべき」と背中を押してもらいました。

インタビューを受け、初めてのテレビデビュー。

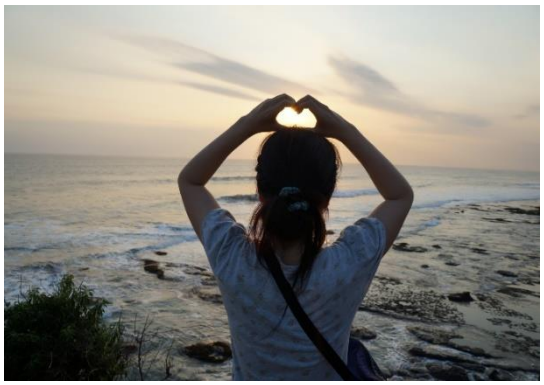
ダメもとで出した応募書類、あれよあれよと選考に通り面接と英語の試験を受けに東京へ。圧迫面接で栄養士とJICAの面接官がおり、栄養士の面接官は厳しく私の返答を「それじゃダメ、考えがなってない」とバシバシ切りまくり、面接後の私の心はズタボロ状態。全く受かる気が

しないと東京を後にしました。しかしどこがどうなったのか、私に届いたのは合格通知！！インドネシア共和国ゴロンタロ州ボアレモ県という任地を見たとき、え？一体ここどこ？要請内容は私の経験のない母子保健。がしかし、受かったことは奇跡だと母と喜び合いました。ちなみに父親にはJICA受けたことは伝えてなかったので事後報告。

洗たく板をしょって新花巻駅から旅立ち。不安いっぱい。

インドネシアを選んだ理由

実を言うと私の第1希望はネパールでした。山岳民族の村を巡回して、栄養調査をするというネパールに心惹かれました。要請内容に対して経験年数・資格は充分でした。第2希望には「青年海外協力隊＝アフリカ」のイメージがあったのでアフリカのどこかの国の病院栄養士。



第3希望で当時従兄が駐在していたインドネシア。彼は大学でインドネシア語を専攻して、現地の大学に留学しました。卒業後は「小金持ちになる」と言い残しインドネシアの日本大使館で通訳として働いた行動力のある従兄でした。尊敬するその従兄が岩手に来るたびインドネシアの話をしてくれました。東ティモールの独立時は泊まっているホテルの下で銃撃戦があったと恐い話も聞かされました。

インドネシア行きが決まって、、、

私が海外協力隊事前研修で2泊3日の勉強会を終えて、新幹線の駅へ迎えに来た母の第一声は「芳文（従兄）が死んだ」という衝撃の言葉でした。インドネシア在住の彼はサッカーワールドカップを友人達とスポーツバーで観戦していたところ、ビル火災に巻きこまれて亡くなったのです。ニュースで彼の死が流れました。スポーツバーには数百人の客がいて9人の死者の中の1人に彼は入ってしまいました。火災は放火によるもので、35歳で逝ってしまいました、、、、。

ロンボック島そばの無人島へ隊員仲間と旅行。夕日をバックにジャンプ！私はどれでしょう？

インドネシアに行くことを彼に伝えていませんでした。行ってからサプライズをしようと考えていたのです。後にはインドネシア人の奥さんと2人の子供が残されました。彼女たちは日本語を話せません。一人残された彼の母はインドネシア語がわかりません。私がインドネシアに導かれた不思議な縁を感じました。

母は3姉妹で母の姉の子（芳文）がインドネシアへ。そして私も。おまけに母の妹の子も今そこに。なんとまあインドネシアに縁のある家族です。

協会からのお知らせ

・英語講座が休止しています

８月４日（水）から英語講座がスタートしました。その後新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により花巻市交流会館が９月１２日まで休館となっており、９月１５日より講座を再開する予定です。受講生の皆様には、お手元のテキストで予習いただきながらお待ち下さい。

・賛助会員を募集中

当協会の目的や活動に賛同いただける賛助会員を募集しております。
協会情報誌のお届けのほか、当協会主催のイベントの案内を優先的にお届けいたします。
また当協会主催の各種講座に割引料金でご参加いただけます。

年会費
個人　：　２，０００円
団体　：　１０，０００円

賛助会員数（８月末現在）
個人　２８　名、団体　４　団体
ご賛同ありがとうございます

図書だより

Library News

当協会では、一部の本の貸し出しをおこなっております！是非、交流会館まで足をお運びください。
※尚、雑誌はバックナンバーのみ貸し出しいたします。（２週間）

＜定期購読雑誌　最新号の内容＞

・**Hiragana Times　－ひらがなタイムズ－**
「〝月がきれいですね〟は愛の告白？」

・**News Week 日本語版**
「日本を変えるSDGｓ」

・**ENGLISH JOURNAL（CD は館内でのみ貸出可能）**
「オトナの夏休みドリル」

※「この本を入れて欲しい」「こんなテキストがあったらいいな」という皆さんの声をお聞かせください。

問合せ先

〒025-0004　岩手県花巻市葛第３地割183番地1
ＴＥＬ：0198-26-5833　　FAX：0198-26-5855
E-MAIL：kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp
ホームページ：http://hanakokusai.wordpress.com
開館時間：8:30～17:15　休館日：土日祝祭日、年末年始